

7. 奥秩父（甲武信岳～金峰山）

1) 日程

1984年11月23日～11月25日（前夜発2泊3日天幕）

2) コース

第1日 梓山—毛木平—十文字峠—大山—三宝山—甲武信岳—甲武信小屋

第2日 甲武信小屋—甲武信岳—富士見台—東梓—国師岳—大弛峠—朝日岳—金峰山—金峰山小屋

第3日 金峰山小屋—金峰山—大日岩—富士見平小屋—瑞牆山荘—増富

3) 記録&コースタイム

年月日	時間		場所	備考
1984.11.23	07:30	発	梓山	畑の中をどこまでも続いているように思える舗装路を テクテクと歩く。
	08:19	通過		舗装がきれい。
	08:35	通過	十文字峠道標	林道に入ると、薄らとではあるが一面の銀世界となる。
	08:43	着	河原	小さな沢を渡り、道は登山道らしくなり、沢沿いに登ってゆく。
	09:03	発		
	10:07	着	レスト	沢から離れ、斜面をジグザグに尾根に取り付くような登りとなる。
	10:15	発		
	10:33	通過	尾根上	明るい雰囲気尾根上に出て、そのまま尾根沿いに緩やかな登りで峠へ。
	10:58	通過	十文字峠	
	11:29	通過	大山肩	
	11:43	着	大山山頂	岩をよじって山頂へ。山頂に雪は無く初冬の陽射しが暖かい。軽く昼食。
	12:05	発		
	13:12	着	鞍部	岩の露出した大山をくだり、再び樹林の中へ。
	13:22	発		
	14:17	着	三宝山	三宝山は山頂まで灌木に覆われて展望がなく、一休みして先へ。
	14:37	発		
	15:10	着	甲武信岳	山頂で写真を撮る数枚撮り、設営地確保のため早めに下る。
15:15	発			
15:28	着	甲武信小屋	小屋までのくだりは、雪が付いていて滑りやすく、急な箇所は慎重に下る。	

1984.11.24	04:00	起床	甲武信小屋	雪が結構ありそうなので早めに出る。
	06:25	発		
	06:45	通過	甲武信岳	山頂で日の出を待つが、ちょうどその方面だけ雲があり見られなかった。
	06:58	通過	西沢分岐	国師方面に向かう人はいらしく、雪のちらつきだした中、一人下って行く道は踏まれておりラッセルの心配はなさそうだ。
	07:17	通過	水師	
	07:31	着	レスト	樹林の道は、尾根沿いに上下を繰り返しながら進んでいく。それにしても静かだ。足を止めると、シーンという音が頭の中で響きわたる。
	07:41	発		
	08:01		小さなピーク	小さなピークに登りつくと、反対側の林の中からテンが地面に鼻をつけるようにしながらスタスタと歩いてくる。向こうも気付いたらしく、立ち止まり頭を上げてこちらを見る。しばらく見つめ合っていたが、思わず「やあ」と声をかけると、コクリと頷くように頭を下げ、そのままスタスタと急ぐ様子もなく歩き去った。
	08:28	通過	富士見台	
	08:45	着	レスト	
	08:55	発		
	09:23	着	東梓	雪が本格的に降り出す、樹林の中では風もなく、歩いていると暑いので、ヤッケは着ず傘をさして歩く。
	09:25	発		
	09:55	着	鞍部	
	10:05	発		
	11:20	着	三角点ピーク	
	11:25	発		
	11:50	通過	天狗尾根分岐	山頂付近は降りしきる雪で視界がきかない。積雪も深いところで30~50cm位はありそうだ。
	12:00	通過	国師岳	
12:30	着	大弛峠	ここにテントを張るつもりだったが、	

1984.11.24	13:20	発	大弛峠	あまりに殺風景なので、金峰まで行きこととし、昼食をとって出発。
	13:43	通過	朝日峠	再び樹林の中での登りとなり、朝日岳に登りつく。ここからは這松帯の中を行く。
	14:20	通過	朝日岳	
	14:28	着	小ピーク	
	14:35	発		
	14:42	通過	鉄山	
	15:12	着	金峰肩	
	15:22	発		
	15:30	通過	金峰山	山頂は雪で展望もない。新雪で埋まった道を探しながら、斜面をジグザグに小屋へ下っていく。小屋付近は幕営禁止ということなので小屋泊とする。
15:45	着	金峰小屋		
1984.11.25	05:30	起床	金峰小屋	
	06:50	発		
	07:02	着	金峰山	稜線まで出てみると、天気もさほど悪くなく展望を楽しめた。尾根沿いに下っていき、樹林帯に入ると滑りやすい雪の斜面の道となる。
	07:22	発		
	08:15	通過	大日岩	ここら辺りから雪もほとんど消える。
	08:30	通過	大日小屋	
	08:45	通過	鷹見岩分岐	ザックをデポして鷹見岩へ。
	08:52	着	鷹見岩	大きな岩の上でしばし横になる。
	09:10	発		
	09:15	着	鷹見岩分岐	ザックを背負って出発。
	09:20	発		
	09:45	通過	富士見小屋	
	10:45	通過	瑞牆山荘	水場で、一口水を飲んでそのまま林道へ。
	12:00	着	増富	追い越してゆくバスからの白い視線を浴びつつ、スキの揺れる紅葉の林道をブラブラと増富へ。